

(1)

会報



緑のまち

第14号 平成6年10月20日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内
電話 0425(85)1111 内線 265~7



(多摩川より丹沢連峰を望む)

秋の野に咲きわたる花を指折^{おしひ}り、かき数^{ななくさ}ふれば七種の花、萩の花、尾花(ススキ)、葛花(クズバナ)、なでしこの花、女郎花(オミナエシ) また藤袴(フジバカマ) あさがほ(キキョウ)の花
(この歌は山上億良が万葉集にうたった秋の七草の歌として有名です)

昔からススキ(尾花)は秋を代表する植物で、穂がけものの尾のような形をしているのでオバナ(尾花)ともいわれ、又、この草を刈って屋根をふいた(刈屋根)ことからカヤともいわれております。

平成5年度 事業報告

昨年の春から秋にかけての低温長雨(異状気象)は、日本経済に大きな打撃を与えることになってしまいました。ようやく経済の景気回復かとみられた矢先だけに非常に残念でした。

結果は今までにない米の不作、冷夏による消費の低迷と円高が追い打ちをかけ、さんざんな一年でありました。

当協会の事業も雨に泣かされ、イベント、花壇の植付管理等は苦勞の連続でした。しかし、関係者、参加者のご協力によりなんとか実施することができました。厚くお礼申し上げます。

5年度事業は、魅力ある事業にするにはどうすべきかを念頭に入れ、

①講習会の充実、

②公共施設へのプランターの増設、③各事業の充実等を目指し鋭意努力いたしました。ここに事業の概要をご報告いたします。

一、市民参加による緑化推進及び普及啓発事業

①春(4月)の緑化月間中、家庭緑化、地域緑化を目指しミツバツツジの苗木配布、4月29日「みどりの日」には、ミニバラ、日陰ツツジの配布、秋(11月)には、ユリ(カサブランカ)、スイセン、フリージアの球根配布を致しました。いずれも大勢の方に参加をいただき、大盛況でした。同時に植物写真展、盆栽山野草展、親子炭焼き教室、地域清掃など実施致しました。②菊花コンテストは5年度より菊友会と共催で開催することになり、秋の長雨の影響を心配致しましたが、前年を上回る出品をみ、関係者の努力もあり、いずれも素晴らしい作品ばかりでした。年々充実し、今後が楽しみです。

二、環境美化を基に緑化活動事業

その他、緑の羽根募金活動、正月の寄せ植え、洋ラン栽培講習会、作文集の作成、自然観察会などを実施致しました。

①コミュニティ花壇は市内

に50ヶ所以上あります。この植付管理を自治会、老人クラブ、子供会などにお願ひし協力を得ております。年4回花の

植付をし充実を図っています。②花と緑の健康相談は中央公園(雨天・緑化センター)で実施し、相談件数も年々多くなっております。植木、菊、草花、庭作りなんでも結構です。この機会をご利用下さい。③花の里親里子運動、樹名板の取り付けのほか、炭焼き事業も7回実施致しました。

三、緑化推進に関する調査研究

意識調査の結果を(概要版)パンフレットにまとめ、希望者に配布いたしました。結果の一例ですが、

- ①協会の事業は4割以上の人が知っていて参加している。
- ②苗木、球根、菊苗の配布は5割以上の人は継続希望、
- ③配布した苗木は8割、9割が育っている。

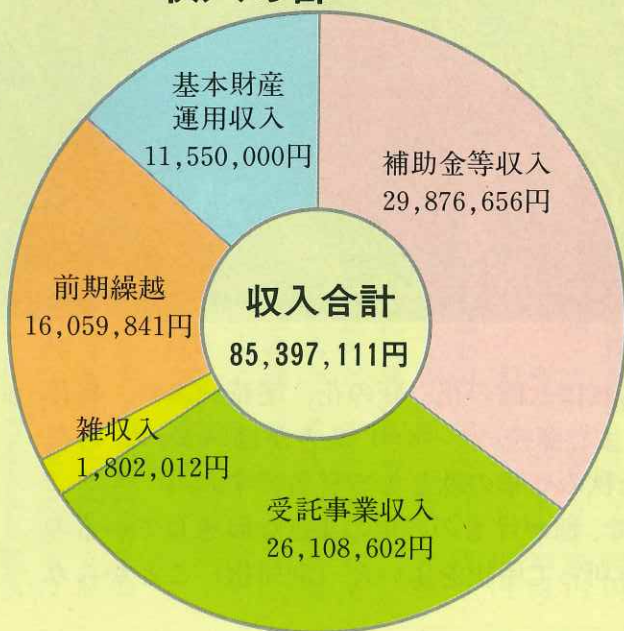
その他市民の方は、半数以上が緑を増すべくベランダなどで、鉢物、草花を育て楽しんでることがわかりました。この結果を今後の計画に役立たいと思います。

四、日野市からの受託事業

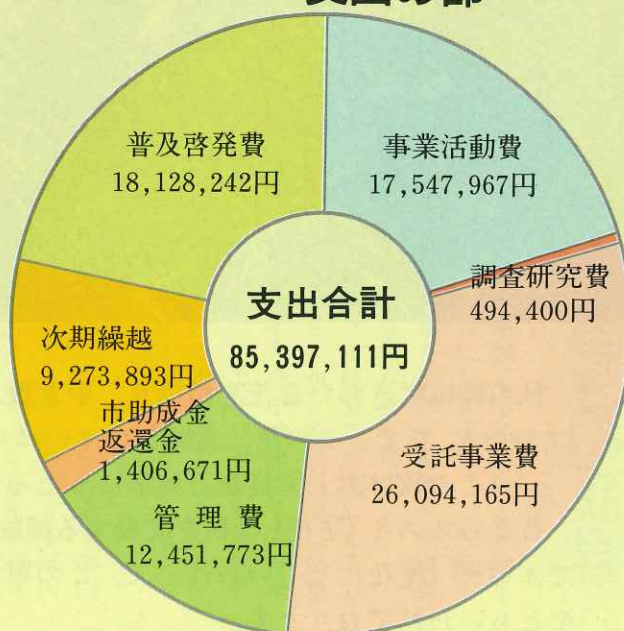
受託事業として、菊花事業、花卉植付事業、公園及びグリーンベルト等除草事業を実施致しました。

平成5年度収支決算

収入の部



支出の部



あなたも参加してみませんか

園芸講習会

カトレアの咲く日を心待ちに

花好きの姉や姪につられて花をいじり始めてはみたものの、なかなか思うようには咲いてくれず、来年こそは、来年こそはのくり返しだったある日、「緑のまち」に接し、カトレアの講習会の記事を見つけた応募したところ、幸運にも当選の返信をいただきその日を待ちました。

当日は、うきうきと早目にご家を出て、会場で材料費と引換えにカトレアの鉢をいただき開会を待ちました。定員50名の会場は満席で熱気さを感じられました。

「らん」といえば、シンピジュームかクンシランを咲かせる位しか出来ない私に、果してあの高貴なカトレアを咲かせることが出来るだろうか、少々不安でしたが、野本先生のユーモアいっぱい、わかりやすいお話に、だんだ



ん自信がついてきたような気がしました。後半の皆さんの質問も大変勉強になりました。帰宅後、教えられたように、針金で鉢を巻き、30%の太陽光が受けられそうなヒイラギ南天につるし、毎日苗木と話したり、顔色？を見ながら秋には、すばらしい花を咲かせてくれることを夢見ながらがんばりたいと思います。

程久保・八賀 和子



植物写真展

野草を撮る

これまで何回か緑の写真展に応募させていただいたが、緑と人がふれあう写真はなかなか撮れない。人がいても係わりが弱かったり、いいチャンスと違ってカメラを向けると、サッサと立ち去られたりで、半ば諦め気味である。そこで去年は人の代わりに人形を使った。意外にうまくいったので、今年もこの手でいくことにした。

次に相手の緑だが、梅や桜は皆さんよくお撮りになっている。そこで日野の自然を守る会編集の「新・日野の植物ガイドブック」を開いた。そ

夏休み親子昆虫教室

私は、広報を見て昆虫教室が開かれるのを知り、前から矢島先生のお話を一度聞きたいと思っていたので応募しました。先生のお話は、まるで私達に話しかけているようきんちょうずすることもなく聞くことができました。スライドも、昆虫の成長の様子や飼育の仕方が、初めての人でもわかるようなものばかりで、

お話を聞きながら見られたのととても良く理解できました。私達の住んでいる日野には、年々少なくなってきたはいますが、まだまだ自然が残っています。この教室に参加して人間や動物達のためにも、自然環境を守っていくことが、とても大切だということがわかりました。

日野台・6年 石井 香織

れにはいろいろな植物が載っている。これらの写真は余り出品されていない。早速、自転車が出掛けた。川辺堀之内にはスミレ、タンポポ、オオイヌノフグリ、クサボケがあり、新町から多摩川土手にはオオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、タネツケバナが至る所にみられた。花の写真は朝がよいと聞いていたので、早朝に行くと、コハコベのように花を閉じて朝寝をきめこんでいるものもある。

これらの野草は丈が低いし、花も小さいので、カメラを地面にくっつけるようにし、クローズアップレンズをつけ、背景もある程度入れる為に、絞りを最小にして撮ってみた

が、出来た写真はボケた遠景が大きく迫って完全に失敗。次善の策として、土手の端に咲いているものを探し、斜面に腹這いになって、雲をバックにしてみた。雲の位置と形が思うようにならず、風が吹くと花が揺れる。何回か通って、ようやく撮ったホトケノザの写真に紅い仏達と題名をつけた。クサボケには小さなお地藏様を配した。花の咲き具合を見に何回か通って撮ったが、花とお地藏様の位置関係が思うように撮れなかった。来年もチャレンジしてみたい。

お陰で、地に這いつくばる花に、自然の造形の素晴らしさを発見させて頂いたことを感謝したい。

大坂上・高松 正義

ご参加下さい!!

~12月9日

くらしに花とうるおいを!

主催 日野市 (財)日野市環境緑化協会

菊薫る季節、恒例になりました「菊花コンテスト」をかわきりに、今年も「秋の緑化月間」行事が始まります。「親子炭焼き教室」「地域緑化・清掃の日」「園芸講習会」等、多彩な催しを用意して皆様のご参加をお待ちしております。

家庭緑化の日(11月3日)

市内7ヶ所で球根の無料配布を行います。今回配布のル・レーブはピンクの花が美しく、切花としても人気の高いオリエンタル系のユリです。

メイン会場の日野中央公園では園芸相談や苗木等の即売会も行います。 ※雨天実施

●球根の無料配布

小学生以上の方にユリ(ル・レーブ)・スイセン・アイリスの球根セットを先着順に配布します。

▽配布日時 11月3日(祝)午前10時から各会場で(日野中央公園のみ午後1時から)も配布
▽会場・配布数 日野中央公園(午前千袋、午後700袋)、東京南農業協同組合七生支店(午前のみ500袋)、旭が丘中央公園・平山地区センター・市民の森スポーツ公園・日野第八小学校・万願寺第8号公園(午前のみ200袋)

●園芸相談

「花とみどりの健康相談」を日野中央公園で行います。園芸に関する事で、聞いてみたいことがありますしたら、この機会にぜひどうぞ。

●即売会

日野中央公園では、花卉生産組合、東京南農業協同組合により、苗木、鉢花、園芸資材などの即売を行います。

また、市政図書室では「新日野の植物ガイドブック」や市史も販売します。

●風船の配布

幼児を対象に無公害風船を先着200人に配布します(水に溶けるため雨天中止)



●苗木の無料配布

家庭緑化推進を図るため苗木を無料で配布します。(先着650人、1世帯1本)

▽日時 11月3日午前10時30分から ※雨天実施

▽会場 緑化センター(日野中央公園南側)

▽苗木 ヒメリンゴ、サツキなど ※高さ2.5mまでの苗木

菊花展示会



市や菊友会との共催によりポットマム、スプレー菊に加えて、大菊、懸崖等の展示も行います。この期間、庁舎の内も外も市の花「菊」で飾られます。ぜひ、ご観賞下さい。

●配布苗菊花コンテスト

8月に市民の皆さんに配布したポットマム、スプレー菊のコンテストです。今年から新たに大菊の部(今回は老人クラブのみ)も加わりました。

▽期間 10月29日~11月6日
▽会場 市役所前市民プラザ
▽部門 市民一般(個人) 小学校(団体) 老人クラブ(団体)

▽表彰式 11月2日午後2時から、市民プラザにて
○詳しくは開催要領をご覧下さい。

●菊友会菊花展

同会場にて盆養、だるま、福助、切り花等の展示

▽日程 10月29日(切り花は11月2日)~11月6日

●古典菊、大菊の展示

中菊の肥後菊・嵯峨菊・江戸菊など100鉢を展示します。

▽日程 11月1日~30日
▽会場 市役所1階市民ホールほか。

自然観察会

青い空に白いうろこ雲。さわやかな秋の風をうけて、野草を観察しながら、散策してみませんか。

今回はカワラノギクやカワラナデシコ等、かれんな花との出会いを期待して、多摩川散策コースを計画しました。

〈雨天中止〉

▽実施日 10月30日(日)

▽コース 高幡不動駅前(午前9時集合) 向島用水親水路 川合流点 多摩川堤防 日野橋南詰(正午解散予定)

▽定員 先着50人

▽申込み 電話で85-1111 1内線265

秋の緑化月間行事に

期間 = 平成6年10月29日

テーマ : まちに緑と清流を!



(今回配布・ユリ)

生け垣講習会

生け垣は街並みの雰囲気をやわらげてくれます。

ご存じのとおり、樹木には空気の清浄や騒音の防止などいろいろな効用があります。この講習会では、専門家が実技指導をしながら、わかりやすく解説いたします。

生け垣に興味をお持ちの方は、ぜひ、ご参加下さい。

▽日時 11月11日(金)午前10時

～11時45分(雨天実施)

▽場所 緑化センター(日野中央公園南側)

▽講師 日野緑進進会会員

▽定員 30人

▽申込み先 公園緑政課 内線361



親子炭焼き教室

「自然の森」そのままの緑に囲まれた南平丘陵公園で、今年も炭焼き教室を行います。

最近、炭の効用が見直され各地で炭焼き教室が開催されています。日野市ではこれに先がけて、萌芽更新材を活用して焼いた炭で川の浄化を試みております。

実際に炭焼き窯で炭を作るのには火を入れてからとり出すまで一週間以上かかります。

今回は簡単に炭を作るいくつかの方法を、展示品を使い説明いたします。



▽日時 11月13日(日)午前10時

～正午(雨天中止)

▽会場 南平丘陵公園

▽講師 杉浦銀治氏

▽申込み 電話で(財)日野市環境緑化協会(〒市役所内線265)

先着50組

みどりの写真展

緑の中にいる時、人は自然に心が安らぎます。

市内でみつけた秋の草花、黄色や赤に彩られた木々、緑と人のふれあいの写真を、ぜひお寄せ下さい。

▽テーマ 「日野の植物 ― うつり行く秋 ―」

▽展示期間 11月14日～11月30日

▽会場 市役所1階市民ホール

▽搬入 11月2日までに(財)日野市環境緑化協会まで ※詳細は募集要項をご覧下さい。

地域緑化・清掃の日

11月27日に、自治会・老人クラブ・子供会等の皆さんのご協力を得て、市内全域の一斉清掃を行います。

一人一人の心がけで、街はきれいになります。

街を汚さないよう、みんなで気をつけましょう。

▽日時 11月27日(日)午前9時～正午

当日は自治会、老人クラブ、子供会等の指示に従って下さい。参加賞の球根で、春には色とりどりのチューリップを咲かせて下さい。

園芸講習会

(正月の寄せ植え)

月間行事の最後は、お正月にむけて、「松竹梅の寄せ植え」講習会を行います。

管理次第で何年も楽しめるうえ、植え方によっては市販されている物より素晴らしい鉢植えが出来あがります。



▽日時 12月9日(金)午前10時～正午と午後2時～4時の2回

▽会場 日野市中央公民館(午前・午後とも)

▽講師 武井完雄氏

▽定員 午前・午後各50人(申込み多数の場合は抽選)

▽費用 材料費千円

▽申込み 11月15日(必着)、往復ハガキに午前・午後明記のうえ、(財)日野市環境緑化協会(〒191日野市神明1の12の1日野市役所内)へ。

緑を守るために

日野市立日野第七小学校

岡本 玲央

今、地球上では緑が破壊さ

れています。新聞や地球環境

問題の本を見ると、おどろく

ほどの面積で大切な森林がな

くなっていくのがわかります。

紙や建物、ゴルフ場、道路

を作るために、木を切ったり、

自動車や工場から出るよこれ

た空気によって木が枯れたり

しています。緑がどんどん減

っていくのはすべて、人間の

責任です。

緑を守るために、僕達人間

がどうしたらいいのか考えて

みました。

まず、むやみに木を切らな

い事、そして、切った跡には

新しい木を植えたり、種を蒔

き、元通りの自然にもどるよ

うにする事が大切です。また、

自動車の排気ガスなども少な

くするにはどうしたらいいの

か、考えてみる必要があると

思います。

例えば、排気ガスが出ない

電気自動車や、太陽のエネル

ギーで走るソーラーカーを開

発する事も大切だと思います。

緑が壊されて困っているの

は人間だけではなく、昆虫など

数少ない鳥や動物、昆虫など

の生物も、住み家をなくし、地球上から姿を消そうとしています。緑を守るという事はこうしたたくさん生物を守るといふ事でもあると思いま

す。

僕は小学校四年生の時、夏

休みの自由研究で、日野市に

ある南平丘陵公園の植物の研

究をしました。公園の中はた

くさんの緑があつて、学校や

家の周りでは見られないう

な鳥や昆虫に出あいました。

緑の森の中は涼しくて、とて

も静かで落ちついた気持ちに

させてくれました。でも、公

園の奥の方に行くにつれて、

緑と緑の間に茶色に枯れた木

が目立ちました。酸性雨が原

因だとわかった時、驚いた事

を思い出しました。

僕達人間には、すぐに自然

を元通りにする事はできません。

でも、世界中の人達が緑

を大切にする気持ちと育てよ

うとする努力をすればきっと

少しずつ元の地球に戻る事と

思います。

たくさん緑

日野市立程久保小学校

杉田 純一

ぼくの家の近くには林があ

ります。ぼく達は小さかった

時も今も、その林で遊んで

います。

友達といっしょに行つてか

くれ場を作ったり、たんけん

をしたり、おにごっこをした

り、ダンボールをしいてすべ

ったりといろいろ遊びます。

その林を学校から見たら、

夏は緑色で、秋は紅葉できれ

い

です。夏には色々な虫が出

てきます。セミがいつせいに

鳴きだします。カブト虫やク

ワガタもでてきます。春には

花がさき、ちようちようもで

てきます。いろいろなことを

毎年くりかえします。自然の

緑はだれにも助けられず、す

ごいなあと思いました。

このまえ、ぼくの弟と数人

が、かたに空気を調べるのを

つけて学校に行きました。こ

れはほかの学校もやりました。

そして何週間かたったあと、

その結果が出ました。調べた

所は二十くらいありました。

その結果一番空気がきれいな

のは程久保でした。ぼくはそ

れを見てやっぱりと思いまし

た。程久保は、森や林や木な

どがたくさんあるので、とて

も空気がきれいです。もしも、

空気がきたなかつたら、せき

やぜんそくなどになるかもし

私達から

の提案



小学校6年生を対象にした作文募集も6年目を迎えました。今年13校で575編が集まりましたが、協会では市内の全小学校から応募いただければと願ってやみません。子供達の緑を思う気持ち、緑を大切にしようとする心は不変です。ここに選考委員(先生方)に選んでいただいた10編のうち5編を紹介致します。(残り5編は次回に掲載)

っともつと緑をふやして、空気をきれいにしたいと思えます。そして、何十年後にも空気がきれいで子供が遊べるように、みんなで努力していきたいと思えます。

ぼくたちは、学校できくを育てています。ぼくたちの学校も緑がたくさんあります。

学校から見ると、程久保は緑にかこまれていきます。それはとても住みやすくていいと思

います。下の大通りの桜の木などはとてもきれいです。

緑は、とても大切なものだと思います。ぼくも、そんな

緑が好きなので大切にして

きたいです。

林の四季

日野市立三沢台小学校

尾関 由

太陽がキラキラと降りつ

ける夏のある日、百草園の裏に

ある林に入ると、四方八方か

らセミの声が聞こえてきた。

たくさん木がよりそって、

緑色の葉を枝いっぱいに広げ

ていた。足もとでは、ありが

いそがしうにチョロチョロ

と動きまわっていた。家がな

らび、車の行きかう道路を歩

いていた時は、さわがしい人間

の世界だったのに、この林に

入ると、突然、虫や鳥、草花

や木々たちの自然の世界が広がりとでも気持ち良かった。車の音もなく、緑のにおいがした。

秋になって、私は父と「しいの実」を拾いにまたこの林に入った。落葉がきれいだった。やっと大きなしいの木の下までくると、歩くことのできないほど、たくさんのしいの実が落ちていた。持ってきたビニールのふくろが、いっぱいになるほどしいの実をつめこんだのに、しいの実はまだまだ地面に落ちていた。上を見ようと、しいの木が豊かに枝を広げ、空が見えなくなるくらいだった。家で、母にいつてもらって食べたしいの実。はともおいしかった。

冬、こたつにもぐりつばな。しだった私は、久しぶりに林にいつてみた。びゅうびゅうと風がふく音がするだけなのにとでも落ち着けた。ちらほらと梅が咲き、春が近づくにおいがした。

暖かな春の休日、遠まわりをして林を通った時、一輪のかたくりの花を見つけた。とてもあざやかなピンク色で、そこにだけ特別な春がきたようだった。翌日、母を連れて同じ場所に来て、一しゅん私は「どきん」とした。きのうのあのかたくりの花はなく葉

だけが残っていた。一体だれがとったのだろう。あのかたくりの花は、この林で咲いているのが一番美しいのに。悲しい気持ちとくやしい気持ちがぐっとこみあげてきた。人間の手で守らなければならぬ自然なのにひどいと思った。一年中すばらしい自然とめぐり合わせてくれるこの林が私は大好きだ。だから大切に守りたい。

森林の声

日野市立平山台小学校

白沢 麻衣子

「おばあちゃん。自然てな。あに。」「自然?」「そう自然」ここは日野にある平山城址公園。ここで私はそんな声を聞いた。「自然とはな、人間の疲れた心、悪い心をいやすものだよ。」「いやすつて」「よく聞いてごらん。鳥のさえずり、風の音。」「うん、聞こえる。」

「しかしな、今、熱帯雨林のばつさい、大規模な焼き畑などをし、人間は自然破壊をどんどんすすめている。人間はバカだな。人間は自分の首を自分でしめているんだ。」「じゃあ、私たちの兄弟がみんな殺されているの。人間のために。」そこで私は、初めてわかった。この人たちの正体が。

「昔は人間と自然とが手をとり合って生きていたころもあった。」「手を」「そうじゃ、縄文、弥生のころは必要以上に、木を切る事もなく、人間の行いが行きすぎていたら、警告として天ばつをあえた。そんな時代があった。」「そうか、そんな時代もあったのか。」「そして私は、思いきつてしゃべりかけた。」「森林さん、私ずつと聞いていました。人間は森林を切つてばかりいた。でも、今私たちは少しずつ立ち上がっています。リサイクルをしたり、一度切つてしまつた木を植林をしてまたもとの緑にもどそうとしたりしている。それが何十年何百年かかるかもしれないけれど、私たちはそういう事を行っている。この日野だつて清流ポスターとかいろいろな事をして、水を守ろうとしている。水は木じゃないけれど間接的につながっている。そんな運動を私たちは行っている。」と私はさげんかだ。

そのあと森林は何もしゃべらなかつたけれど、きつと私がいっただ事わかつてくれたとも悲しんでいる。昔のようう時代がくるように、自然を大切にしていきたいと思う。



木

日野市立南平小学校

鶴岡 真明

暑くて暑くてしょうがない学校からの帰り道、ほとんどぼくは、ひかげをさがして帰ります。でも建物のかげと木のかげとでは、なぜか木のかげのほうがすずしくて、ほつとします。建物のかげは、暑い太陽の光は防げます。でも風がふいていても、建物が風をうけるだけですずしくありません。

ぼくは、木の多いここ日野市の生活になれているので、都心へ行くと、(空気がきたないなあ。)とつくづく思います。都心の人は、日野のことをいなかとかいうかもしれませぬ。たしかに、山があつて少々ふべんかもしれませぬ。でも、ぼくは、木が多く山のある日野市が大好きです。山には虫がいっぱいいるし、気分がよくなるし、探検やきちを作つたり、木のほりをしたりする、公園よりもずっと楽しい所です。だから、小さいころからあつた木が切られると、なんとなくさみしくなります。あの店のちかくのちゅう車場のわきに、くるみかなんかの大きな大きな木がありました。小さいころからそこに車を止めると、いつもながめてからいきます。でも、ある日車からおりて、あぜんとしました。そこにあつたのは、木の切りかぶとマンシヨンの骨組でした。その日から、ぼくは、木を守らないといけないなあと思うようになりました。

木は自分の土地でしか守れません。だから、フェンスをかきねにかえるなどして、守らなくてはいけません。市のほうも、並木道や木の多い公園などふやして、緑化をはかつてほしいです。

地域にある児童公園は、地域の大きな財産です。日頃から皆さんの手できれいにしましょう。

三角点・柗井西・滝の上・金田公園

もぐさ会代表者 二階堂 幸
3人で清掃を始めて2年になります。全般に言えることですが、使用する人のマナーが悪く困っております。

特に犬を散歩させる時の糞の処理、紙オムツの処理、花火のあと始末等が悪く、又公園内でピンを割る人がいて、処理に時間がかかり大変です。

公園は大勢の人達が利用します。使ったあとかたづけはきちんとしたいものです。

地域の皆さん、ご協力をお願いします。



地域の公園は

地域の人の手で



旭が丘東公園

旭が丘東公園愛護会

代表者 小川 信子

広い公園で地元の方は、大人も子供も一緒にになり、いろいろと楽しく利用しております。公園清掃を始めて2年になります。最初は4人でしたが体調を悪くした人が出て、残念ながら3人です。今では励まし合いのんびり清掃します。この公園の利用者のマナーは良い方です。子供づれの方にはスベリ台等、もうすこし遊具があれば良いと思う時がたびたびあります。良い事なので頑張ります。

◆新役員・評議員紹介

(任期平成6年4月～平成8年3月)

〈理事〉

〈順不同〉

- 中村 敏夫 (財)森林文化協会員
- 中川 英子 (日野市緑化推進委員)
- 橋本 栄萬 (元市職員〈部長職〉)
- 矢島 稔 (財)東京動物園協会常任理事
- 窪田 之喜 (八王子合同法律事務所)
- 小寺 一郎 (高尾電鉄KK相談役)
- 片岡 尤二 (日野の自然を守る会会長)
- 高橋 英昭 (日野の自然を守る会)
- 黒田 桂子 (日野市環境緑化市民会議)
- 松田 雄孝 (日本女子大学講師・都市環境)
- 小俣 雅義 (日野市建設部長)
- 鈴木 榮弘 (日野市都市整備部長)

〈監事〉

- 真野 保 (日野市明るい社会をつくる会)
- 龍崎 和義 (日野市環境緑化市民会議)

〈評議員〉

- 沢田 研二 (日野市議会建設委員会)
- 執印眞智子 (日野市議会建設委員会)
- 黒川 重憲 (日野市議会建設委員会)
- 小山 良悟 (日野市議会建設委員会)
- 佐瀬昭二郎 (日野市議会建設委員会)
- 中谷 好幸 (日野市議会建設委員会)
- 旗野 行雄 (日野市議会建設委員会)
- 奥住 芳雄 (日野市農業団体連合会)
- 中村 孝一 (日野市小中学校長会)
- 樋口 信夫 (日野市老人クラブ連合会)
- 滝沢 誠一 (社)日野青年会議所
- 熊沢 政明 (日野市子ども会連合会)
- 西村セキエ (日野市環境緑化市民会議)
- 清水新一郎 (日野市環境緑化市民会議)
- 佐藤 才市 (日野市市民自治学園)
- 曾根フジ子 (日野市市民自治学園)
- 西沢 光 (株)東芝
- 下田 隆康 (コニカ株)
- 平田 敬一 (富士電機株)
- 齋藤 利彦 (日野自動車工業株)

「緑の羽根」募金結果のお知らせ

緑の羽根募金運動も昭和27年より始まり、今年で42年目になります。この間、多くの方のご尽力を得て、年々その成果も顕著になってまいりました。

今年には特にバブル経済の崩壊による影響が懸念されましたが、各事業所(会社関係)、自治会、老人会その他多くの方々のご理解とご協力により、前年を大きく上回る成果をあげることができました。

▽募金総額 268万9千324円

▽内訳

自治会	104万7千126円
老人クラブ	21万9千56円
公立学校	4万9千510円
私立幼稚園・保育園	4万7千843円
団体・事業所	81万9千988円
街頭募金	35万1千389円
市役所機関	15万4千412円

この募金は60%が市に還元され、残りを都が中心となり、各公園・学校、社会福祉施設等の緑化に使われます。

緑の羽根募金はみどりをふやそうとする皆さんの願いのあかしです。緑豊かな都市づくりを更に推進しましょう。

◇編集のあとに◇

表紙の写真は、多摩川の川原に群生しているオギです。オギはススキによく似た植物ですが、丈夫な地下茎をのばすため、増水にも強く、川原でも大きく繁茂することができます。